

# 役場庁舎建て替えについて

## 町長 厳しい財政状況の中でも、良質な公共サービスが

### 実施できるよう、財政運営に取り組みたい



町長 阿部 和則 議員

## 町長

①庁舎建替え

町内会の定期総会・新年会、また各関係機関の新年会、懇談会でも考えを伝え、ある程度理解を示されたものと記憶している。今後建設基本構想が

000万円の増、実質公債比率は平成42年度には12.8%に至り、地方債残高のピークは平成40年度で118億4000万円に達すると推計しており、将来負担比率は17.5.3%と推計している。

③歳出面での見直しが必要になってくるが、住民生活に直結する部分は出来る限り削減せず、厳しい財政状況の中でも、良質な公共サービスが実施できるよう、財政運営に取り組みたいと考えている。

## 阿部

新しく創設された「市町村役場機能緊急保全事業」を活用した但知安町役場庁舎建替えの基本計画と基本設計費が計上された。

平成32年度の新庁舎移転を計画しているが、

①住民の理解は得られていないか伺う。

②財政は何処まで悪化するのか。将来負担比率や実質公債費比率など具体的な数値は。

③住民の生活に直結する医療、福祉、各種補助金、公共料金などに影響は出ないか伺う。

## ふるさと納税制度の活用について

## 阿部

ふるさと納税は、ふるさとを応援する本来の制度から、節税しながら、地方の魅力ある物産を手に入れるツールに変わり、歳入不足に悩む自治体にとって、ありがたい制度にもなっている。わがまちもそのような認識を持ち、積極的にこの制度を活用すべきと考える。

②平成27年に作成した財政シミュレーションをもとに、建替えに必要な地方債を21億5000万円と想定、新幹線建設負担金、観光中核施設、既に実施した学校給食センターや今後の統合保育所等を含めると償還のピークは平成41年度で9億4000万円となり平成27年度と比較すると2億7

①寄附金から控除額や返礼品額を引いた実質の実入りは。  
②返礼品の充実が寄附金を増額させる作用のほか、観光地にとってなくてはならない特産品の開発にも繋がる施策ですが積極的に取り組む気持ちはあるか伺う。

## 一般質問 阿部和則

## 町長

①平成29年1月末現在において2181件、371

2万5677円の寄附収入があり、返礼品額及び委託経費を差し引いた額は1596万6243円、これから税額控除額を差し引き1268万3510円が実質収支となる。

②多くのふるさと応援寄附金を集めるためには、返礼品の充実が最も効果的であると認識している。通年で提供できる商品の

充実、新たな特産品の開発も検討すべき事項であると考えている。返礼品自体についても、地域で加工品を作るということは、地元での雇用にはね返し、地域の稼ぐ力になる、そこも見据えた中で取り組むべきと考えている。今後、稼げる自治体にもなるように、いろいろ工夫をしながら、しっかりと取り組んでいきたい。

